

中部国際空港将来構想推進調整会議 議事録

1 日時

令和3年7月29日（木）午後1時30分から午後2時10分まで

2 場所

愛知県庁本庁舎 6階 正庁

3 出席者

大村 秀章	愛知県知事
河村 たかし	名古屋市長
平木 省	岐阜県副知事
廣田 恵子	三重県副知事
山本 亜土	名古屋商工会議所会頭
水野 明久	一般社団法人中部経済連合会会長
犬塚 力	中部国際空港株式会社代表取締役社長
各務 正人	中部国際空港株式会社特別顧問

<オブザーバー>

伊藤 忠彦 衆議院議員

4 主な議事

中部国際空港将来構想推進調整会議設置要綱（案）が承認され、中部国際空港将来構想推進調整会議が設置された。会長には、大村愛知県知事が就任した。

今後について、具体的な検討を進めるために、設置要綱第5条に基づき、推進会議の部会等として部局長レベルによる検討部会が設置された。とりまとめ役には、愛知県の森都市・交通局長が指名された。

5 主な発言

（大村愛知県知事）

- ・中部国際空港が国際拠点空港として複数の滑走路を持つことは悲願である。
- ・第二滑走路の整備を求める取組は新たなステージに移行させるべきである。
- ・推進会議の設置をキックオフとして、今年度内にも中部国際空港の将来的な絵姿をとりまとめ、国とも調整していきたい。

（伊藤衆議院議員）

- ・中部国際空港が二本の滑走路をもって完成するという事に向かって進み始めたことはありがたいことである。
- ・国の予算などについてどのように協力できるか、勉強させていただきたい。

(河村名古屋市長)

- ・二本目滑走路の実現に向けて、早く進めていかなければならない。
- ・名古屋の税金の7割が国に納められている。日本で一番国に税金を納めている都市は名古屋である。名古屋地域として税金を保留して、二本目滑走路に向けて、自分たちで使うという方法もある。

(平木岐阜県副知事)

- ・岐阜県にとって名古屋港やセントレアは玄関口となる。セントレアの機能強化のための二本目滑走路、完全24時間化は本県としてもお願いしたい。
- ・一宮西港道路は、東海北陸自動車道と相まってアクセスが飛躍的に向上する。アクセスの改善につながる道路網、リニア整備も重要。

(廣田三重県副知事)

- ・中部国際空港は、中部圏の経済や産業の基盤となる重要な社会インフラとしてだけでなく、我が国全体の活力に貢献していると認識している。
- ・漁業者への配慮は忘れてはいけない。

(山本名商会頭)

- ・従来から、この地域にどうしても必要なものとして、中部国際空港の二本目滑走路、リニア中央新幹線、名古屋駅のスーパーターミナル化の3点を主張している。
- ・名古屋港の新たな土砂処分場の西工区埋立完了まで15年かかると聞いている。二本目滑走路の早期実現のために、完了の前倒しを働きかけてほしい。

(水野中経連会長)

- ・地元経済界としては、引き続き、需要拡大に向けたサポートを強力に実施し、インバウンド、アウトバウンド、それぞれのV字回復を目指してまいりたい。
- ・我が国のリダンダンシー向上と経済発展に大きく貢献する二本目滑走路に向け、しっかりと構想を構築して、前進してまいりたい。

(犬塚空港会社社長)

- ・我が国の成長を支える国際拠点空港としての役割を果たすため、皆様としっかりと検討してまいりたい。

以上